



発行日
 平成30年10月5日第136号
 林野庁 北海道森林管理局
 釧路湿原森林ふれあい推進センター

産学官が連携した森林整備を実施

9月15日(土)、雷別国有林(根釧部森林管理署293林班/標茶町雷別)で、産学官が連携したCSR活動の取組みが行われました。

この取組みは、札幌市に支店をおく企業が、これまで主に道央で実施してきた社会貢献活動について、平成29年度から「雷別地区自然再生事業地」で、企業・高専・当センターが連携して、森林整備を行っているものです。

2年目となる今年度は、笹地11でミズナラ・ヤチダモ・ハルニレを2



▽集合写真

00本植樹するとともに、ノウサギ等の野生生物から植栽木を保護するため、保護管(ツリーシールド)で被覆しました。

現地は笹根や根株が多く、苗木を植える穴掘り等に、ご苦労をおかけしましたが、参加した皆さんは、秋晴れの自然再生事業地で、心地よい汗を流していました。

参加者からは、「学生とともに、社会貢献活動ができ、楽しい時間が過ごせました。」や「植栽木の成長が楽しみです。」等の感想がありました。



▽植樹指導の様子



▽保護管を被覆する様子



▽植樹の様子

アイスの棒が大人気

9月1・2日(土・日)、白糠町のハミンググロウドで、第26回「しらぬかカミングパラダイス」が開催されました。

この催しは、町民をはじめとして、各地から大勢の来場者が訪れる人気のお祭りで、同町の商店街通り(ハミンググロウド)を2日間閉鎖して歩行者天国とし、町民による露天やフリーマーケット、竹馬やフープ等々の昔の遊びや多彩なアトラクションが繰り広げられます。

また、白糠町緑化推進委員会が、木育推進の一環としてブースを設けており、その一角に釧路総合振興局森林室と当センター



▽会場の様子



▽アイスの棒で木工クラフト

は、日替わりで参加しました。

当センターは2日(日)に、カラマツやアカエゾマツのマツボックリ、木の輪切り、アイスの棒等で、木工クラフトづくりを行いました。

参加者は、見本を参考にデザインやパランスを考え、材料を選んでいましたが、白糠の子どもたちには、アイスの棒を用いた木工クラフトが大人気でした。

当日は秋晴れの暖かい一日となり、家族連れや友達同士等、多くの来場者が訪れ、終了を予定していた13時を大幅に超えて、「カミングパラダイス」終了間際まで、木工クラフトづくりを楽しんでいました。



▽DVDを視聴する学生の様子

雄大なカラマツ林を実感

9月5日(水)、京都大学等の学生が、パイロットフォレストを見学しました。

これは京都大学と北海道大学が、北海道研究林標茶区(京都大学)及び厚岸臨海実験所(北海道大学)を拠点として、上流の森林と厚岸湖・厚岸湾、そして、これらをつなぐ別寒辺牛川を対象として、森林植生・水生生物・土壌・堆積物等に係る実習を行っており、その一環として「パイロットフォレスト」を訪れたものです。

当日は、当センターの活動を紹介するとともに、「パイロットフォレスト」造成時の様子を記録したDVDの視聴や当時使用していた機械を見学しました。その後、望楼へ移動し、造成から60年を経たカラマツ林を眺望しました。

当日は時折、雨が降る悪天でしたが、学生からは「見渡す限りのカラマツ林が、雄大でした。」や「望楼からカラマツ林を見ることができて、感動しました。天気の良い時にまた、見に来たいです。」等の感想がありました。

専門的な解説を堪能

9月12日(水)、国有林をフィールドとして自然再生(森林再生)に取り組むボランティア団体、「雷別ドングリ倶楽部」が、今年度第3回目の活動を実施しました。

今回は、「玉川大学北海道弟子屈農場」(弟子屈町美留和)を訪ね、釧路川源流部に位置する同大学研究林で、講師をお招きして自然観察を行いました。

当日は、同大学美留和晴耕塾のご担当者から、当該施設や研究林の概要を始めとして、地勢や動物・植生等について、現地を散策しながら解説いただきました。また、解説の際は、国外のものを例示い



▽ヒグマの解説を聞く会員の様子



▽地勢の解説を聞く会員の様子



▽植物の解説を聞く会員の様子

ただく等、専門的な説明と併せて、会員からの質問にも回答いただきました。

会員からは、「今後の森林づくり活動に参考となるお話しを聞くことができ、大変有意義な一日でした。」や「釧路川源流部の貴重な森林の散策と専門的な解説を聞くことができ、大変勉強になった。」等の感想がありました。

和琴野営場での昼食の後、午後からは「ハيرانド小清水725」で、オホーツク海・知床連山・屈斜路湖・川湯硫黄山・和琴半島等、左右およそ300度の大パノラマを眺望し、釧路川源流地域を堪能した一日となりました。

パイロットフォレストで自動撮影調査

当センターでは、パイロットフォレスト国有林で、野生生物の生息状況を把握するため、モニタリング調査を実施しています。

この調査は、森林総合研究所北海道支所と連携して行っているもので、例年、7月と9月の2回、自動撮



▽タヌキ (30年7月)



▽エゾシカ (30年7月)

影カメラを用いて、中・大型ほ乳類等を撮影し、そのデータを収集しています。

今回の9月期の調査は、3日〜26日までの24日間を予定しており、赤外線に反応して撮影することができ、自動撮影カメラ6台を、林道沿いに設置しました。

調査結果については、まとめ次第、お知らせします。



▽土の中の生き物を探す様子



▽担当者による説明の様子

夏の学校林活動

8月23日(木)、標茶町立中茶安別小中学校の「るるるんフォレスト(学校林)」で、「夏の学校林活動」が開催され、根釧西部森林管理署と当センターが連携して、活動を支援しました。

今回の学校林活動は、森林が野生生物の生息場所となっていることを知ってもらうこと、また、自分や地域と自然・森林とのつながりを考えてもらうことをテーマとして、虫や生き物を探すフィールドワークを行いました。

まず始めに、森林管理署の担当者が、ゲームの仕方や虫の探し方を説明し、その後、小学1～6年生と先生が3班に分かれ、虫探しがスタートしました。

各班は、「るるるんフォレスト」の遊歩道や笹地・水辺・遊歩道等で、虫や生き物を探すとともに、見つけたものを記録し「見つけた場所ビンゴカード」で、何列ビンゴできるか、競っていました。

当日は、蒸し暑い日となりましたが、向秋の「るるるんフォレスト」に、児童と先生の歓声が響き渡っていました。



▽水辺の生き物の解説の様子



▽見つけた生き物を記録する様子



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、国有林をフィールドとして、北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取組むNPO等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。